

◆ 第7回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 委員紹介 4 事務局からの説明 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「公共空間再編整備計画」・「都市空間デザインガイドライン」策定の背景等 (2) 公共空間とまちなみの現状分析 (3) まちづくりのシナリオ (4) 5つの空間タイプと地区交通の考え方 (5) 公共空間整備方針・都市空間形成方針（案） (6) 本日の検討・確認事項 (7) 戦略会議・WG等のスケジュール 5 意見交換 6 閉会 
<p>委員の主な意見</p>	<p>【公共空間再編整備計画について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 荷捌きへの対応として、利用率の低い駐車場や共同荷捌き場の設置は有効であるが、それらを使ってもらえるようにするためには、荷捌きのルールを商工業者が中心となって作っていくことが重要である。 ● まちづくりのシナリオには、どのような人たちをどのような過程で巻き込んでいくのかも示せると良い。 ● 中期を見据えたまちづくりであるので、若い世代の意見も聞きながら検討を進め、人が集まるまちなかを実現してほしい。 ● 一般車乗降場の東西分散化により駅までの距離が遠くなるので、誘導や案内を十分に行うなど、利用者が使いやすいように配慮する必要がある。 ● 駅周辺にヒト中心のにぎわいが創出され、まちが面的に活性化することで、公共交通の利用者の増加も期待できるので、交通事業者としても積極的に協力していきたい。 <p>【都市空間デザインガイドラインについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デザイン誘導指針のイメージは非常にわかりやすく、わくわくするものとなっていて良いと思う。一方で、物流、一般車、自転車など、このような空間を実現するためにクリアしなくてはならないネガティブな要素についても併せて示し、議論していけると良い。 ● 地球温暖化や気候変動などの問題に対して、中心市街地の再生、公共空間の再編がどのように貢献できるのか、また、貢献するために何が求められているのかということも記述していきたい。 ● 人のための空間を提供するとともに、そこで活動が行えるようにするための仕組み・仕掛けづくりも必要である。 ● 道路空間が民間の方に上手く使われることと、建物の1階部分がパブリックに使われることが両方行われるとまちとして良い空間が生まれていくと思う。行政側への注文が多く出てしまいがちであるが、民間側で何ができるかも一緒に考えていけると良い。 <p style="text-align: right;">以上</p>